企業に未来基準の元気を！

2016年6月23日

プレスリリース
報道関係各位

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表取締役社長　鳥越　慎二
（JASDAQ　コード 8769）

富士ソフトへのストレスチェックサービス導入が決定

～グループ5社を含め約9,000名のメンタルヘルスケアを推進～

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：鳥越 慎二、以下「当社」）は、富士ソフト株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員 坂下 智保、以下「富士ソフト」）とそのグループ会社 5 社に、当社が提供するストレスチェック義務化に対応したメンタルサポートプログラム「アドバンテッジ タフネス」の導入が決定したことをお知らせします。

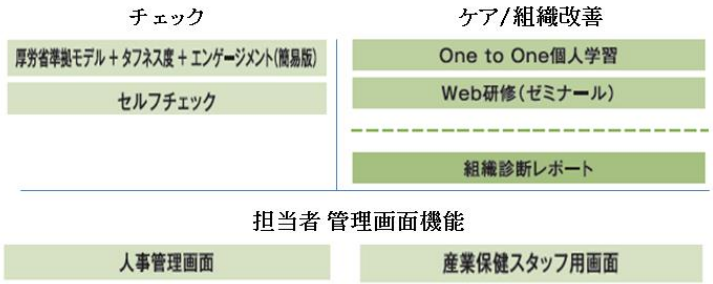
富士ソフトは国内外に多数の拠点を有する、ソフトウェア開発やアウトソーシングサービスを手掛ける大手 IT ベンダー企業です。同社は以前よりメンタルケアに取り組まれており、2007 年にメンタル復職支援の専門チームを立ち上げ、2014 年 4 月には、富士ソフトグループ社員の健康管理を行うことを目的に「富士ソフトグループ健康管理センター」を開設しています。“企業が健全であるために、働く社員が健全であること”を大前提として健康管理体制を整え、現在はグループ会社の社員を含めた約 9,000 名の健康維持、メンタルケアに取り組まれています。

このたびのストレスチェック義務化に際し、富士ソフトは、当社の「アドバンテッジ タフネス」の『スタンダードチェック』プランの導入を決定されました。選定にあたり、「タフネス度（＝個人のストレス対処）」が測定できるなど、「職業性ストレス簡易調査票」の 57 問に留まらない設問の幅や質を評価いただきました。また、組織診断を重視していた同社にとって、人事管理画面にて、担当者がさまざまな切り口を設定しながら分析できるスピード感や、画面のわかりやすさが同社のニーズに合致しました。

同社では、グループ 5 社を含めた従業員約 9,000 名に対し、今年 7 月より順次、ストレスチェックを実施する予定です。

●富士ソフト株式会社　URL:http://www.fsi.co.jp/

【アドバンテッジ タフネス」『スタンダード チェック』プラン概要】
厚生労働省が示す 3 要素を含んだ「準拠モデル」に「タフネス度」や「エンゲージメント」を付加。
その後のケアや組織改善を含めたサービスをパッケージで提供。



【お問い合わせ先】
株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント　http://www.armg.jp
（取材・広報に関して）　経営企画部 ： 小林 幸子／清水 裕次　TEL：03-5794-3890
（サービス内容に関して）　事業企画部 ： 長 紘子　TEL：03-5794-3830